

# Weekly コラム

令和6年3月12日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 大学の強みを活かした リカレント教育の推進

経団連と国公立大学の代表者により構成される「採用と大学教育の未来に関する産学協議会（以下、「産学協議会」）」が2023年4月に公表した2022年度報告書では、リスキリングを含むリカレント教育（以下「リカレント教育等」）の重要性が高まる中で大学の強みの活用について触れています。

産学協議会は、2022年11月末から12月下旬にかけて、参加大学等を対象に行った「大学等が実施するリカレント教育プログラムに関するアンケート」を実施し、企業側のニーズを踏まえつつ大学の強みを活かしていると考えられるリカレント教育の好事例（31大学から124件の事例）を収集しています。

これらのアンケート及び好事例から得られた示唆は以下の4点に整理されます。

第1に、企業と大学との間で共同開発したプログラムだけでなく、既存の大学生向けのプログラムを社会人のニーズを踏まえてカスタマイズすることも有効である点です。

第2に、大学側が考える大学発リカレント教育プログラムの強みは、一方通行の座学だけでなく、演習や実習なども含めたプログラムの多様性にある点です。

第3に、他の主体と連携しているプログラムの連携内容についてみると、「政府・自治体」、「企業」、「他の大学・高専」といった連携先ごとに期待する内容・役割が異なることから、各大学が多様な連携候補先を見つけやすくする環境整備がカギとなる点です。

第4に、受講成果の把握には「履修証明」が積極的に活用されているものの、社員を送り出す企業にとっては、単位や学位と自社の

ビジネスへの貢献が繋がらないケースが多く、一層の改善が求められる点です。

では、「大学の強みを活かしたリカレント教育プログラム」にはどのようなものがあるのでしょうか。そこで、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が取りまとめた2022年度報告書において、大学側から提供された好事例をもとに教育プログラムの目的に沿って分類した七つの類型についてみていきましょう。

一つ目の類型は、「大学が、学部生（若者）を対象に開講している基礎科目・一般科目のうち、Society 5.0時代の常識として知識の刷新・能力の底上げを図る必要性などから、企業人向けに内容をカスタマイズしたうえで受講を推奨するもの」です。

二つ目の類型は、「地域特性（地域社会・産業、域内の多様な関係者等）に対する深い理解に基づき、地域課題の解決に取り組むことを主眼としたもの」です。

三つ目の類型は、「専門性の高い職務に従事している企業人のスキルアップ・資格取得に資するもの」です。

四つ目の類型は、「学術研究の実績等で当該大学が強みを持つ分野に特化したもの」です。

五つ目の類型は、「理論と実践知の融合を通じて社会実装に必要な能力の向上・手法の獲得に資するもの」です。

六つ目の類型は、「異業種・異分野交流を通じて、新たな価値共創やイノベーションに資する分野横断的知識・能力（総合知・総合力）の獲得・向上に資するもの」です。

七つ目の類型は、「高度経営人材の育成を主目的としたもの（広範な分野の理解力、俯瞰的判断力、決断力・リーダーシップ、人的ネットワーク等の涵養）」です。

上記の類型は、今後企業及び大学におけるリカレント教育プログラムの検討にあたり、プログラム開発や、社員の受講の目安として活用されることが期待されているのです。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。